

一般質問



コミュニティバス無料パスの交付を



令和会 ● 森 すなお 議員

問 本年度もコミュニティバスの運行損益8千万円の補助金を予算計上しています。これは市民が乗らないバス利用料分です。
70歳以上の方や免許証自主返納者に無料バスを交付して補助金を有効活用すべきでは。

答 昨年から始めた高齢者無料乗車券はその多くが使用されていません。それを分析して検討しますので、もう少し時間が欲しいと思います。

補助金として交付している8千万円はもったいないと思っていますので、悩みたいと思います。

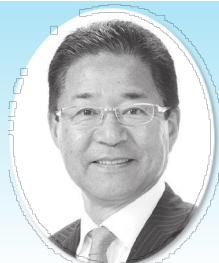
甲賀病院へのアクセス
問 過去に、公立甲賀病院組合議会や本市議会で「甲賀病院への交通アクセスを求める」決議や意見書を全会一致で可決しています。甲賀病院へのアクセス

を検討すべきでは。

答 選択肢の一つにはありますが、タクシ事業業者や病院事業者への影響、介護タクシーとの関係などを総合的に考慮して検討します。

防災ラジオの導入を
問 パソコンやスマホを利用しない方、目や耳の不自由な方、日本語に不慣れな外国籍の方、またテレビやラジオの電源を切っている時や、暴風雨で防災行政無線が聞こえない時、携帯電話が通じない時などに、心強い存在となる防災ラジオを導入すべきでは。

答 防災ラジオには約5億円の事業費が必要です。費用対効果から検討しますが、最終的に自己責任です。市民一人一人がアンテナを張って情報入手し、まずは逃げることに尽きると思います。



安心安全な道づくり 通学路の安全対策!!



みらいの風 ● 堀田 繁樹 議員

安心安全な道づくりについて
問 国道1号4車線化と県道草津伊賀線の状況について

答 国道1号バイパスは平成20年3月に暫定2車線が供用され、そのあと石部大橋、栗東湖南インターが開通し、道路の渋滞は部分的に解消しましたが、朝夕は慢性的な渋滞で、生活道路への通過車両があふれている状況です。

今年4月、国道整備5か年計画が示され、湖南市内4車線化は見送られました。

促進期成同盟会を通じて早期実現に向け積極的に取り組めます。

草津伊賀線の渋滞解消対策として、三雲西交差点拡幅にかかる測量調査が、今年度県において実施予定です。

問 生活道路への通過車両の流入対策は。

答 交通事故防止・市民の安全対策として路側帯の区画線引き直しなどを実施しています。

問 市道の維持管理・改修のあり方は。

答 現地確認の上、緊急性の高い箇所から順次対応しています。今後も地域の協力を得ながら、適正な道路管理に努めます。

問 通学路の安全対策キッズゾーン創設について

答 学校や地域からの要望について関係機関と協議・連携しながら対策を講じています。

キッズゾーンは、運転者への注意喚起を目的としており、保育園などの意見も聞き、必要性を判断していきます。

